



2013 AUTOBACS SUPER GT

第3戦 SUPER GT INTERNATIONAL SERIES MALAYSIA

#9 NAC 攻殻機動隊 ARISE DR ポルシェ レースレポート

6月15日 [土] 予選 / 曇り / コース：ドライ

6月16日 [日] 決勝 / 晴れ / コース：ドライ

[予選 6月15日 (土)] 天候：曇り 気温：23度 路面温度：41度 路面状況：ドライ

プラクティスセッションでセッティングを煮詰める事が出来ず、アンダーステアを解消できなかつたので

予選に向けて大幅にセットチェンジを行う事になってしまった。

密山選手がNEWタイヤでアタックを行なったが2'06.807のタイムで19番手にとどまった。

セットチェンジは良い方向に働きアンダーステアは解消できたが、逆にオーバーステアが出てしまい

タイムアップをする事が出来なかった。

決勝に向けてセットを少し戻せば車の仕上がりは良い方向になることに期待をした。

[決勝 5月16日 (日)] 天候：晴れ 気温：34度 路面温度：41度 路面状況：ドライ

予選後にセットチェンジを行い、朝のフリー走行に望んだ。期待どおりオーバーステアも解消しピット作業のシミュレーションを行ない万全の状態決勝に望んだ。

スタートドライバーは密山選手が勤め9ラップ目には15位まで順位を上げた。

その後2分11秒台でコンスタントにラップを刻んでいたところ、22ラップ目以降にリアタイヤ

の磨耗が進みタイムダウンしてきたので予定より少し早く26ラップ目にドライバー交代を

行なった。ピット作業は無事成功したが、ピットアウトの際にパーコレーションが起これ

エンジンがかからなかった。このトラブルにより30秒ほどロスをしてしまった。

ドライバー交代した茂田選手は密山選手に遜色ないタイムでラップを重ねた。

最終ラップの最終コーナーで茂田選手が#37Keeper SCに接触してしまい、チェッカーを受ける事が出来なかった。

この接触により茂田選手は30秒加算のペナルティーを受けた。

最終リザルトは、19位完走で1ポイント獲得となった。

マレーシアでのレースにも関わらず多くの方々にお越しいただき大変感謝いたします。

今回のレースでは、マシントラブル、ドライブミス等が起きてしまったので次戦は万全の体制でレースに望めるようチーム一丸となってがんばってまいります。

引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

[以下チームコメント]

神野監督

灼熱の暑さの中、予想通りマシンもドライバー、メカニックも暑さとの戦いとなりました
今回は走りだしからマシンのセッティングに苦勞し予選では密山選手は本領発揮する事ができませんでした
大幅な賭けにでたセットチェンジも的を得ず厳しい展開となりましたが日曜日には方向性も決まりタイムにも繋がりを見せました
今回、助っ人ドライバーとして招いた茂田選手はルーキードライバーとはいえアジアでの数々の経験を生かし素晴らしい仕事をしてくれた
密山選手を始めチームもドライバーも頑張ったが結果は19位
ファイナルラップでの接触は茂田選手の脱水によるものと考えたとセパンの過酷さがよくわかる。
これで3戦を終えチームはより強く繋がり仙台、鈴鹿、そしてタイヤテストと更に更に前進していきます。

最後に皆様の応援、本当にありがとうございました！
Forevr Fabulous!!

ファーストドライバー密山祥吾

スタートでは、1コーナーでSLSをパス、続くS字区間ではGTRをパスする事が出来ましたが、せめぎ合いの中で、ミスもあり、パスしたマシンに抜き返されたりと、至る所でバトルを展開しながら周回を重ねました。ペース的に戦えたのも中盤までで、それからはリアタイヤの摩耗と格闘しながらのドライブとなりました。それでも結構順位はあげられたと思います。その後、茂田選手にドライバーチェンジをした際、熱でエンジンが掛からなくなったり、500クラスとの接触もあったようですが、今回、デビューした茂田選手の走りは素晴らしかったと思います。今回も残念な結果で終わりましたが、エンジニアも私もマシン特性をかなり理解し始めているので、今後、必ず、巻き返します。

スポットドライバー茂田

初めてのSUPER GTでしたが、学ぶことも多くとても良い経験になりました。
ですが、最後にミスをしてしまいとても残念です。
チームの皆様、スポンサーの皆様、この度はありがとうございました。また乗る機会を頂けましたらぜひ頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

チーフエンジニア小藤

このマシンは思っているよりもセットチェンジに敏感だった。予選でのセットチェンジは半分で良かった。こんなに素直に反応するマシンはひさしぶりなので次戦以降は慎重にセットを煮詰めていきたい。
ピットストップの際のパーコレーションは次戦以降は冷却の対策を行なっていきたい。